

南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありません**、同じ市民同士の生の意見として参考までとしていただきたいと思います。**正式な指針は政府**が出します、そちらにしたがう事で各種補償も受けられます。どうぞその点を誤解なきようお読みください。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
協力・印刷・配布:長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

南相馬市から6月3日朝 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-06-03 05:34:31

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/1a841f52558fa51a47dc4c1e6762a1f1>

管総理？ やめるようですが、やめるとわかっている人が指導力が発揮できるとは考えられないですよ。復興法案は早期に成立させても、復興案は次の方に任すべきですよ。やめるとわかっている人が、復興案を作っても、しょうがないわけで、責任を持って実行していくことが、大切になってくるのに、何か変ですよ。ね。

管総理、なにか独りよがり続けているようにしか、思えません。残念です。

今頃、本気になるのなら、今まではなんだってのか、やはり、国のトップになる方には、当面の課題、中期的な政策、そして国の将来像を同時に考えて、どうあるべきか、どうしたらいいのかを、同時進行形で組織を、国会を動かしていけるような見識を持った政治家になっていただきたいものです。

早くしないと、放射能被害、取り返しの出来ないことになるようで、心配ですよ。ね。

原発を早く終息させなくては、皆がそう願っていること

なのに、今の政府が本気で行動しているとは思えません。ね。

南相馬市から6月3日夜

2011-06-03 19:30:16

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/6709b3c33f99b7630f2e41cd4abafb2f>

今日、ある取引先に行ったら、東京電力の損害賠償の仮払金申請をして来たと教えられ、用紙があるから、あげるから混雑する前に、出した方がいい、と言われ大至急、書いて出してきました。

過去3年間の内、売り上げの一番良かった年度の、売り上げ、原価、粗利、をもとに計算して、一日当たりの粗利高を3月12日から5月31日までの81日をかけてその合計の金額を割る2が確定金額になり、たとえ1000万円になったとしても限度額は250万円なので、それ以上の支払いはありませんが、とにかく、運転資金が皆さん欲しい所なので、早く欲しいのが本音ですよ。ね。

でも、一番心配なのは、これからの展開が読めず、このまま被災し続けていくのか、それに対して補償はどうあるのか、ホントこのままでは、商売が成り立たなくなっていくようで、不安を抱えて毎日を過ごしていくようです。

福好再見 新商品 ポロシャツが入荷しました。背中に福島県の地図を型ちどった福好再見のデザインです。ドライウエットの生地なので、Tシャツ同様にとても着やすいです。値段はTシャツと同じ2000円です。



《〈原町区〉6月3日の活動報告》

南相馬市災害ボランティアセンターのブログ

2011-06-03 18:14:58

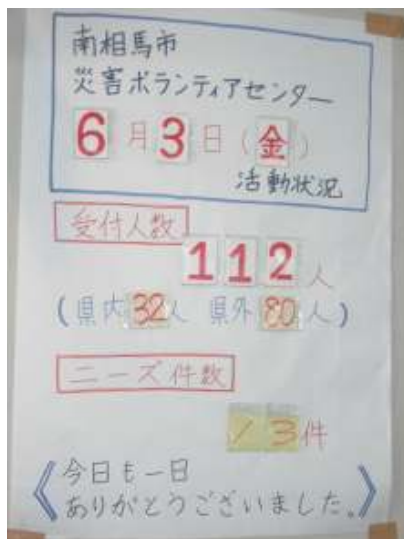
<http://ameblo.jp/minamisoma-svc/entry-10911924381.html>

今日も一日お疲れ様でした



今日は朝からあったかくていいお天気になりましたよ
やっぱり天気がいいと気持ちいい〜
テンションも上がりますよね

そんな気持ちのよかった本日の活動者数ですが
112人（県内32人 県外80人）
ニーズ件数 13件
でした。



今日も沢山の方に来ていただきました！
どうもありがとうございました
昨日の呼びかけのおかげか、
朝の時点で屋内でのニーズに対し必要人数を送り出すことができました。
しかし、屋外でのニーズに対しては少し少なかったです
なかなか難しいですね

それでは明日6月4日(土)の募集内容ですが

☆活動件数 12件
110人程度のボランティアさんが必要です。

☆活動内容 ガレキの撤去・泥出し作業
流出物の洗浄・展示
避難所の運営補助
物資の仕分け
となっております。

注)あくまで6/3(金)に受けた件数です。翌日6/4(土)に新たに依頼を受け活動件数が増える場合もあります。

また、当日予定人数に達した場合は受付を終了させていただくこともあります。

どうかご了承ください。

明日の天気も晴れ

最高気温は25℃

暑くなりそうなので、くれぐれも体調管理に気を付けて来てくださいね

お待たせしました〜♪

今日の紹介コーナー

今日はこちらのイケメン二人組です



左が 山崎敦さん
右が 椎野祐介さん
湘南から来ていただきました。

お二人は、南相馬市に来るのは今回で3回目。
一番最初に来たのは4月の頭。
その頃はまだ屋内

退避が解除されていなくボランティアさんも少なかったそうです。

2回目はGW。

その時は屋内退避が解除され、初めてガレキの撤去作業をやったそうです。

3回目の今日は泥出し作業のリーダーとして活動してきていただきました。

どうして何度も来てくれるのか尋ねると・・・
『最初は人が足りない聞いたから。』

その後は、
『やはり何日か活動していると地元の人とも知り合いになりそうすると行きたくなる。』と言っていました。
今回は明日まで活動してくださるそうです。
また機会があれば来ると言っていました。

何度も来て下さる方はほかにも沢山いらっしゃいます。
本当にありがたい気持ちでいっぱいです。
みなさんいつも来てくれてありがとうございます

明日は土曜日。
沢山の方が来てくださるのをお待ちしております。
よろしくお願いします

#####

【南相馬市役所情報】

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-06/tachiiri-car.jsp>

(警戒区域からの車持ち出し)

【2011 年 6 月 1 日】

福島第一原子力発電所から半径 20 キロ圏内の警戒区域内の 9 市町村では初めてとなる「車の持ち出し」が行われました。

中継基地の馬事公苑で防護服を着用した 38 人は、それぞれのバスで出発し、バッテリー切れや燃料切れなどに備えJAFの職員も同行しました。エンジンが掛かり持ち出された車は、車列を組んで楢葉町の「道の駅ならは」でスクリーニングを受け、除染が必要な人や車はありませんでした。



▲エンジンが掛かるか心配 ▲車列を組んで移動



▲JAFの職員がサポート ▲楢葉町を目指して走行

【南相馬市役所情報】

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/sinsai/2011-06/peindorton.jsp>

写真で見る東日本大震災

(姉妹都市から友情のボランティア)

【2011 年 6 月 3 日】

姉妹都市の米オレゴン州ペンドルトン市のケイト・オバークさん、トリナー・ウィックランダーさん、ターニャ・ハリソンさんが訪れ、ボランティア活動に当たりました。

ケイトさんは、5 年前に高校生派遣団員として訪れた南相馬市を支援しようと、約 70 人が参加した「オレゴンから愛を」東日本大震災支援ツアーの宮城県から足を延ばしました。

3 人は避難所でTシャツなどを配ったほか、前日はテクノカレッジ浜で日用品の物資配布を手伝いました。



▲市役所を表敬訪問▲南相馬親善大使の打矢之威さん



▲ ボランティアの皆さん
に自己紹介

▲作業のレクチャーを
受ける 3 人



▲笑顔でボランティア

▲作業にも慣れてきました



▲避難所でTシャツをプレゼント▲手書きのメッセージも

【南相馬市役所情報】

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/i/k/sousaku-jokyo.jsp>

●東日本大震災に伴うご遺体搜索の現状

平成 23 年 5 月 31 日付でお知らせいたしましたが、その後、詳細な数値を取りまとめましたので、お知らせいたします。

1. ご遺体の搜索動員数及び重機類(3 月 12 日～6 月 1 日)
(延べ動員数)

- ・自衛隊 人数:88,640 人
- ・警察 人数:18,300 人
- ・消防 人数:1,830 人
- ・消防団 人数:4,900 人
- ・合計 人数:113,670 人

※その他、遺族、建設業者も搜索しておりますが人数については、掌握できておりません。

重機類(台数)

【自衛隊】

- ・グラップル :2,910 台
- ・バケット:950 台
- ・ダンプトラック:3,120 台
- ・その他(キャリアダンプ等):0 台
- ・合計:6,980 台

【民間等】

- ・グラップル : 3,691 台
- ・バケット:1,250 台
- ・ダンプトラック:2,870 台
- ・その他(キャリアダンプ等):720 台
- ・合計:8,801 台

2. ご遺体発見経過

【発見数】

- ・3 月 12 日～3 月 20 日:214 人
- ・3 月 21 日～3 月 31 日:113 人
- ・4 月 1 日～4 月 10 日:80 人
- ・4 月 11 日～4 月 20 日:80 人
- ・4 月 21 日～4 月 30 日:31 人
- ・5 月 1 日～5 月 10 日:17 人
- ・5 月 11 日～5 月 20 日:5 人
- ・5 月 21 日～5 月 31 日:0 人
- ・6 月 1 日～:1 人
- ・累計:541 人

※541 ご遺体のほとんどのご遺体が遺族の元へ引き取られました。

3. 搜索の経過

ご遺体の搜索は、大震災の翌日 3 月 12 日から南相馬市の北部から警察、自衛隊をはじめ関係機関等により開始されました。

津波による海水の滞留、大量の瓦礫により搜索は難航しましたが、次の手順で進めました。

(1)道路の整備・排水処理

(2)目視による全域の搜索

(3)重点地域の設定による集中搜索

- ・海岸部(テトラポッド周辺)における搜索
- ・河川部(橋桁、中洲)における搜索
- ・水路、側溝、土管の中の搜索
- ・家屋倒壊部の搜索
- ・瓦礫、泥等の大量堆積部の搜索

(4)目視による全域の搜索

この作業を繰り返し行いました。

特に、用排水溝、道路斜面の下部、屋敷林のなか等は丁寧に作業を進めました。

区ごとの重点搜索作業は次の日程で行いました。

- ・鹿島区 震災翌日から5月初めまで
- ・原町区 4 月中旬から 5 月中旬まで
- ・小高区 5 月上旬から現在(搜索中)

搜索に携わったご家族の方、自衛隊、警察、消防、消防団員の皆様には、心より感謝と御礼を申し上げます。

平成 23 年 6 月 3 日
南相馬市長 桜井勝延

#####